

2006年度 線形代数II 期末試験

- 大問題ごとに解答用紙を1枚使うこと。
- 解答用紙には、氏名、学籍番号、大問題の番号を記入すること。

問題1

$\{1, e^x \cos x, e^x \sin x\}$ で張られる空間を V とし、 V から V への線形変換 F を $F(f) = \frac{df}{dx}$ ($f \in V$) と定義する。このとき、次の問に答えよ。

- (1) V の基底として $\{1, e^x \cos x, e^x \sin x\}$ を取るとき、 V の表現行列を求めよ。
- (2) 小問(1)で求めた行列を A とするとき、 $Av = {}^t[0, 1, 0]$ を満たすベクトル v をすべて求めよ。
- (3) 小問(2)で求めたベクトルを V の元に対応させることにより、不定積分 $\int e^x \cos x dx$ を求めよ。
(ヒント: F の表現行列を A とし、 $f, g \in V$ に対応する数ベクトルをそれぞれ v, u とすると、 $F(f) = g \Leftrightarrow Av = u$ が成り立つ。)

問題2

$x = \begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix}$ を xy 平面上の点とし、直線 l を $y = (\tan \frac{\theta}{2})x$ ($-\frac{\pi}{2} < \theta < \frac{\pi}{2}$) とする。また、 x から直線 l に下ろした垂線の足を $x' = \begin{bmatrix} x' \\ y' \end{bmatrix}$ とする。このとき、次の問に答えよ。

- (1) x から x' を求める写像は線形写像である。これを $x' = Ax$ と書くとき、行列 A を求めよ。
- (2) A のすべての固有値と対応する固有ベクトルを求めよ。
- (3) この写像の幾何学的意味を考えると、実は計算しなくても2本の固有ベクトルと対応する固有値を求めることができる。どのようにすればよいか述べよ。
(ヒント: 線形写像の固有ベクトルとは、写像によって方向が変わらず、大きさだけが変わるベクトルである。この場合、そのような方向は2つある。どんな方向か。)

問題3

$$A = \begin{pmatrix} 3 & 1 & 1 \\ 0 & 1 & 0 \\ -4 & 1 & -2 \end{pmatrix}$$

とするとき、次の問に答えよ。

- (1) A のすべての固有値と対応する固有ベクトルを求めよ。
- (2) 正則行列 P 、対角行列 D によって $P^{-1}AP = D$ と対角化を行うとき、 P, D を求めよ。
- (3) n を正の整数とすると、 A^n を計算せよ (A^n の各要素を n の関数として表せ)。